

きのと小だより

燦

合言葉：みんなで力を合わせて、子どもの方をしっかりと向いて、
大事に大事に育てましょう。 平成27年11月1日 12号

「大事に大事に」

— 職員向けの校長だより より —

校長 金子 智

10月17日日曜日に文化祭を行いました。爽やかな秋晴れの日、大勢の皆様がお越しく下さいました。皆様に作品を褒めてもらった子どもたちの嬉しそうな顔ったらありませんでした。本当にありがとうございました。

私は「大事に大事に」という題で毎日職員向けに校長だよりを書いています。私の日報抄です。少しでも学校での子どもたちの様子が皆様にも伝わらいいなあ そう思って10月26日号をそのまま載せてみました。

寒くなったので校長室の戸を閉めていますが、ガラス越しに外の様子がわかります。先日はおばあさんが荷物を小脇に抱えて、廊下を歩いていきました。急ぎ足でした。

「孫の忘れ物、届けにきましたてばね。」

「わざわざ届けに来てくださって、お孫さんおばあちゃんに大事にされて幸せですねえ。」
の会話が聞こえてきました。

ガラス越しに人の姿は見えないのに毎朝決まってガラガラと戸が半分ほど開きます。1年生です。背が低いので見えないのです。戸を開けると、元気のよい、大きな声で、ぺこりと頭を下げ、

「校長先生。おはようございます。」

とあいさつしてくれます。私も元気な声で、

「おはようございます。」

とあいさつします。おかげで爽やかな気持ちで一日を始めることができます。嬉しいことです。

1年生が「くじらぐも」を勉強しています。子どもたちはお話しの中に入って「くじらぐも」に乗ることができます。「お話しの中に入って自分も登場する」。なんと素敵なことでしょう。子ども時代なればこそです。それができる時代です。こういう子ども時代をたっぷりと過ごさせてやりたいと思います。

2年生が九九の暗記に取り組んでいます。

今日は5の段でした。カードをめくりめくり「ごいちがご。ごにじゅう。ごさんじゅうご。」と唱えていました。これから九九全部が瞬間的にパッと浮かぶまで訓練するのですね。鍛えてどの子もできるように導いてください。

私の父はお風呂で、九九の練習に付き合ってくれました。湯船に2人でつかって、

「ごいちが。」

「ご。」

「ごに。」

「じゅう。」

と掛け合いのようにして覚えました。間違うと最初からやり直しでした。間違わないで最後まで唱えることができると、

「ほお～、できた、できた。」

とうんと喜んで見せてくれました。九九を覚えることができたのも父親に負うところ大だと思っています。感謝しています。

先生、お家の人の力もたくさん借りて確実に身につけてやることにしましょう。

今日から霜月、さざん花が咲き始めました。